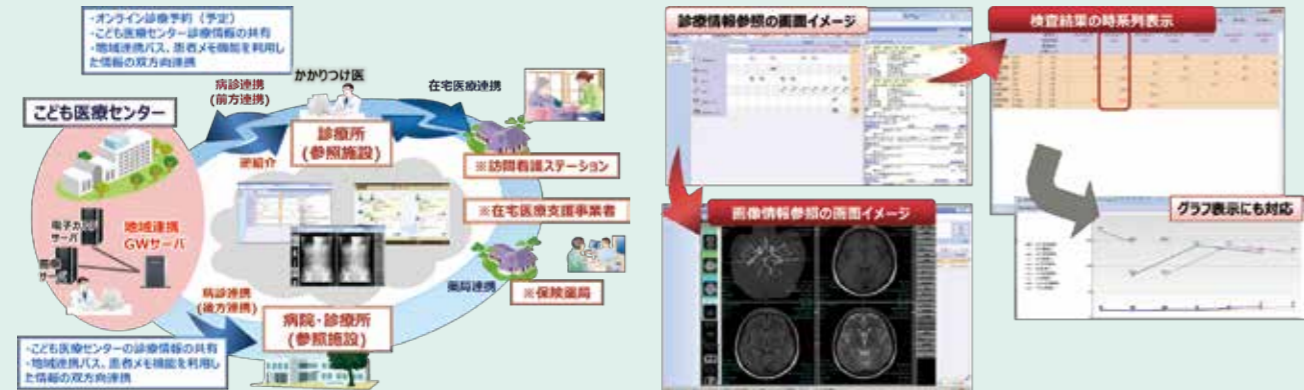


# かながわこども医療ネット 神奈川県立こども医療センター 地域医療連携ネットワーク

「かながわこども医療ネット」は連携先の医療機関に、こども医療センターの電子カルテ情報(処方歴、注射歴、検査結果、画像)をインターネット経由で公開するシステムです。



- 連携先医療機関を随時受け付けています。申込みは地域医療連携室までご連絡下さい。
- 閲覧にはネットワークの連携、患者さんの同意が必要になります。

## 【紹介予約受診システム】

当センターは、医療機関や保健所等の医師からご紹介いただいた患者さん原則 15才以下(中学生まで)が、初診の予約をお取りになり受診していただく「紹介予約制」を取らせていただいております。予約の方法・手続きにつきましては下記をご覧ください。



※ 紹介状の添付資料(紹介状の添付資料(画像CDやフィルム等)も紹介状と併せて事前にお送りください。  
※ 紹介状用紙(料金受取人払)の送付をご希望の場合は、地域医療連携室までご連絡ください。

## 【当センターフォロー中の患者さんの急患受診】

当センターは小児三次救急医療を担う病院です。まずはかかりつけ医、休日急患診療所や夜間急病センター等で受診していただき、必要に応じて医師から当センター担当医宛にご連絡ください。

- ① 医師から当センター担当医へ電話連絡いただき、受診する。
- ② ①が難しい場合、患者さんから担当医に直接電話連絡いただき、受診する。

※事前にご連絡をいただけない場合、受診出来ないことがありますので、ご注意ください。  
※救急外来の診療は担当医ではなく、救急外来担当医が行う場合があります。

# 地域医療連携室だより

## 仮想三者会談 神奈川県立こども医療センターの課題

総長 町田 治郎

日本初のファシリテイドッグとして活躍したベイリーが昨年、引退してアニーが就任いたしました。本日は仮想三者会談をお送りいたします。



アニー ベイリー  
撮影: Eisuke Hoshino

総長(以下 総): まず、自己紹介から始めましょう。私は今年の4月から総長に就任した町田治郎、昭和57年横浜市大出身の整形外科医です。よろしくお願いたします。

ベイリー(以下 ベ): ボクはベイリー、11歳です。ハワイで特殊な訓練を受けてハンドラーの森田さんと働いてきました。昨年引退して今はオレンジクラブに属しています。

アニー(以下 ア): アタシはアニー、3歳です。去年から張り切って働いてます。よろしくね!

総: 去年のベイリー引退はすごかったね。NHKでも放送されたし。

ア: お兄ちゃんのケーキは大きかったのに、アタシのはすごく小さかったのよ。

ベ: しょうがないだろ、アニーはすぐにお腹をこわすんだから。

ア: お兄ちゃんだって、散歩中にどんぐり食べ過ぎてお腹こわしてるじゃない。

総: まあまあ、その位で。ベイリーはこども医療センターをどう思ってるかな?

ベ: うん、やはり小児のエキスパートがそろっていて、素晴らしい施設だと思うな。それだけじゃなく、みんな本当にこどもとその家族の幸せを願っているんだ。

ア: お兄ちゃんは偉いわね。どんぐり食べてるだけじゃないのねー。

ベ: それは、関係ないだろー!

総: じゃ、次はこれからの課題はどうか?

ベ: うん、やはり地域の医療機関との連携を進めていかないとね。

ア: どうして?

ベ: 少子化社会だけけど小児医療はますます集約化が進んでいくと思うんだ。そのためには、適切な時期にこの病院で治療して、あとは地域の医療機関に逆紹介する。そうやって効率的に小児医療を行う必要があるよね。

ア: だから「かながわこども医療ネット」に登録してもらって患者さんのデータを共有してるのね。

ベ: よく、知ってるね。森田さんに甘えてばかりいるだけじゃないね。

ア: 何よ、自分だけ総長からおやつもらってるくせに。アタシ知ってるんだから!

総: ごほん。こどもは国の宝、こども医療センターは神奈川県宝。これからもこどもたちの元気と笑顔のために、がんばってね。

ベ、ア: はい!

## 「軽いアレルギーの人でもご紹介下さい」

アレルギーセンター  
センター長  
犬尾 千聡

軽症と思われるようなアレルギーの子供たちにも、プライマリケア専門診療科としてのアドバイスを提供することで、その後の地域医療機関での診療がスムーズになることを我々は目指しております。



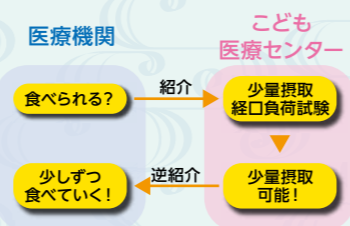
### 食物アレルギー <最初の一口の安全性確認検査>

食物アレルギーの血液検査は意外に有用性が高くありません。ですが、「少しずつ食べてごらん」とアドバイスするのも不安があると思います。その最初の一口の安全性を確認する少量経口負荷試験を私どもは数多く施行しております。

#### 食物アレルギー

かつての考え方 (完全除去食対応)	アレルギー食物を一切食べない まったく食べない
現在の考え方 (部分除去食対応)	食べられるレベルは食べた方が良い 少しずつ食べていく

病診連携



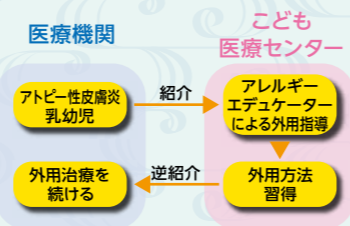
### アトピー性皮膚炎 <外用薬指導>

アトピー性皮膚炎は適切な外用治療(保湿剤、ステロイド剤)の指導が重要です。この指導の専門家である小児アレルギーエデュケーターが当院には多数在籍しています。

#### アトピー性皮膚炎

理想	適切な薬剤を選択し、塗り方を丁寧に指導する
現実	忙しい外来診療の中では、外用薬の塗り方の指導などは難しい

病診連携



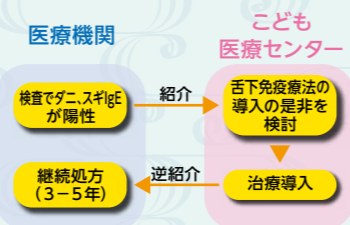
### アレルギー性鼻炎 <舌下免疫療法導入>

舌下免疫療法は有効性・安全性が高い治療ですが、当院では、煩雑な初期導入の部分のみ当院で対応し、その後かかりつけで継続処方をしていただく病診連携を進めております。

#### アレルギー性鼻炎

理想	スギ、ダニの特異的IgE高値なら舌下免疫療法の導入を検討したい
現実	適応の有無もわからないし、どう説明したらいいかわからない

病診連携



## 2019年度 地域の医療機関向け研修会 予定

小児科セミナー	9月7日(土) 8日(日)	13時~17時半 9時~12時半	2日間にかけて各科の専門分野を講義する	小児科志望の初期研修中の医師、若手小児科医師、地域医療機関の医師	 小児科セミナー研修風景
心臓血管外科勉強会	6月14日(金) その他1~2回開催予定	18時~20時	心疾患を中心に地域の医療機関から講演いただき、意見交換を行う	地域の医療機関従事者 院内職員	 小児科セミナー後の懇親会風景
循環器内科勉強会	3回/年 実施予定	18時~20時	心疾患を中心に地域の医療機関から講演いただき、意見交換を行う	地域の医療機関従事者 院内職員	 胎児遠隔症例報告会風景①
小児重症例検討会	6月28日(金) 12月6日(金)	19時~21時	重症治療症例や、現在治療に難渋している症例など、地域の医療機関から講演いただき、意見交換を行う	地域の医療機関従事者 院内職員	 胎児遠隔症例報告会風景②
地域医療支援事業研修会	6月20日(木)	19時~20時半	感染疫学 ・紹介のポイント ・流行の感染症のトピックス	地域の医療機関従事者 院内職員	 小児医療ケア実技研修会
	11月7日(木)	19時~20時半	耳鼻いんこう科 当院で扱っている小児耳鼻咽喉科疾患について	地域の医療機関従事者 院内職員	 在宅医・小児科医・地域連携カンファレンス
	2月実施予定	19時~20時半	未定	地域の医療機関従事者 院内職員	
胎児心臓病遠隔症例報告会	6回/年 実施予定	18時~19時半	遠隔会議システムを利用した胎児心臓病の症例報告会 自施設でインターネットが繋がる環境があれば参加できます。	地域医療機関の 小児科、産科従事者	
小児医療ケア実技研修会(短時間研修)	5月24日(金) 6月28日(金)	18時~20時	緊張が強いこどものポジショニング	地域の医療機関等の 看護師	
	9月27日(金)	18時~20時	重症心身障害児の摂食・嚥下	地域の医療機関等の 看護師	
	1月31日(金)	18時~20時	小児の在宅人工呼吸器の管理方法と留意点 ~入浴場をとおして・排痰補助装置の実際~	地域の医療機関等の 看護師	
小児医療ケア実技研修会(長時間研修)	10月12日(土)	9時~12時半	気管切開をしているこどもの救急蘇生法	地域の医療機関等の 看護師	
小児の在宅医療を支える支援者交流会	9月6日(金)	18時~20時	地域で子どもと家族を支えるために ~コーディネーターと連携したいこと~	地域の医療機関等の 看護師	
在宅医・小児科医・地域連携カンファレンス	7月25日(木)	18時半~20時	終末期の小児がん患者と家族の暮らしを支えるケアを考える ~実際の事例をとおして~	地域の医療機関等の 看護師	
介護職対象医療ケア実技研修会	11月22日(金)	18時~20時	重症心身障害児の安全・安楽への工夫 ~リラクゼーション・移動時の介助~	地域の医療機関等の 介護職、看護師	
小児保健研修	9月3日(火) 10月7日(木)		低出生体重児及び慢性疾患児の在宅療養支援に必要な専門知を多角的に習得し、母子保健指導に役立てる	地域の保健師 地域の医療機関等の 看護師	

※研修場所は当センター講堂や会議室などです。  
※各研修の詳細や申し込み方法などは改めてご案内いたします。  
※内容は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。